

日立空気圧縮機整備用  
「リビルトプロダクト」のご提案

「経済産業省 産業技術環境局長賞」受賞

**HITACHI**  
Inspire the Next

# Re built Products



いま、サーキュラーエコノミーへ。

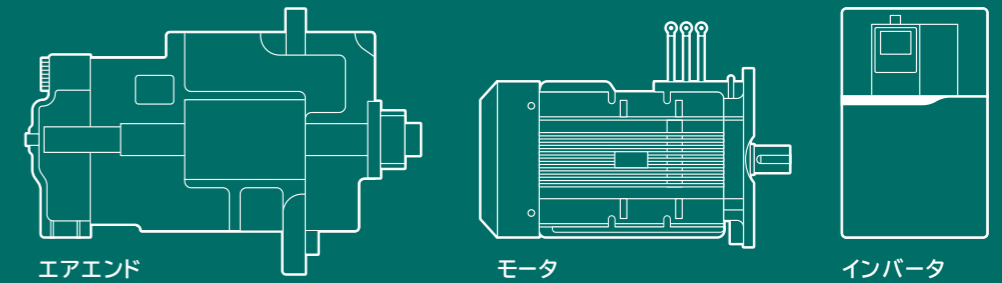
# リニアエコノミーから、サーキュラーエコノミーへ。

「経済産業省 産業技術環境局長賞」受賞

環境負荷低減をめざす経営に新たな視点を。

空気圧縮機の最適な運用のために「リビルトプロダクツ※」というソリューションをご提案いたします。

※リビルトプロダクツとは、使用済み部品を分解し、摩耗・劣化した部品を新品と交換して、劣化していない部品を再利用して組み立てた交換用部品のことです。



リニアエコノミーでは増え続ける環境負荷。

サーキュラーエコノミーという新しい視点が求められています。

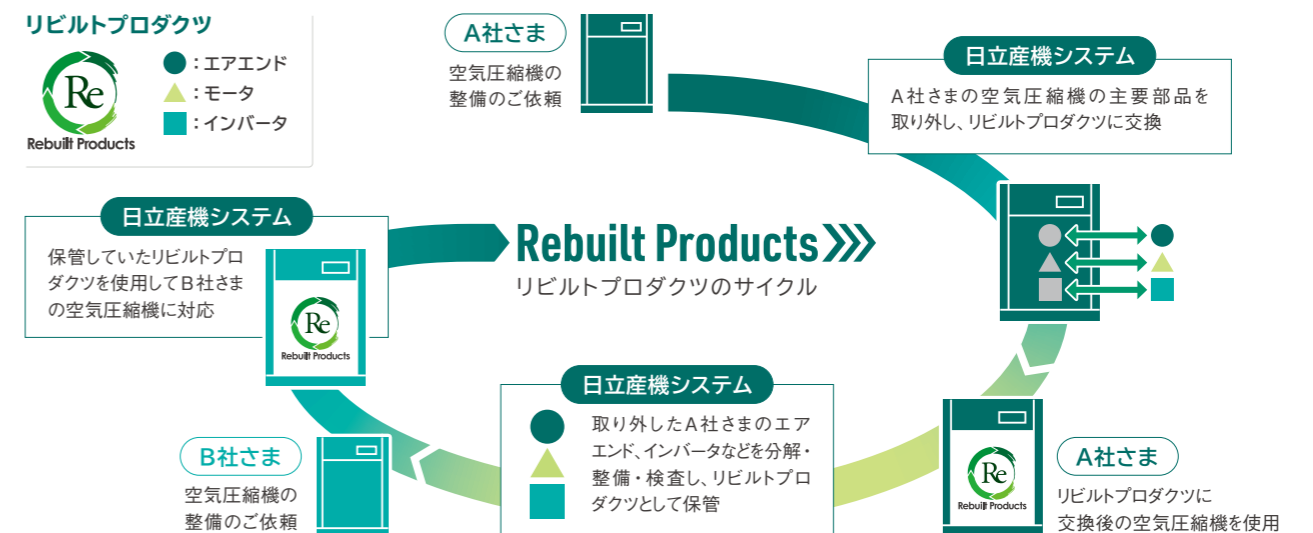
資源から価値を創造することで成長し続けてきたこれまでの経済。しかし、原料から廃棄にいたるリニア（直線的）な形態では、廃棄物やCO<sub>2</sub>は増加する一方でした。環境負荷低減に貢献する企業活動をめざすための新たな視点、それがサーキュラーエコノミー（循環型経済）なのです。



日立だから可能な、サーキュラープロセス。

たとえば、A社さまからご依頼を受けた空気圧縮機を整備する際、交換のため取り外した主要部品を分解・整備・検査した後にリビルトプロダクツとして保管。そして、B社さまからご依頼を受けた空気圧縮機を整備の際に、保管していたリビルトプロダクツを使用すると

いう、サーキュラー（循環型）プロセスです。最初のA社さまの整備の際にも、リビルトプロダクツを使用します。空気圧縮機のサービス・販売・製造に長年取り組み続けてきた日立だからこそ提供できる、新たな時代に対応したサイクルです。



サーキュラーエコノミー対応型の「リビルトプロダクツ」を活用すれば、空気圧縮機の効率的運用と環境負荷低減を両立できます。

このソリューションでは、空気圧縮機の整備で、エアエンドやインバータなどの主要部品を交換する場合、日立産機システムが提供するリビルトプロダクツを使用します。リビルトプロダクツの環境負荷は、新規製作部品に比べ約36%※に抑えられ、廃棄物・CO<sub>2</sub>排出の削減が図れます。

※2021年度、リビルトエアエンドの実績に基づく（当社調べ）。



さらに、多面的なメリットをもたらす「リビルトプロダクツ」。

### 高い品質と信頼性

リビルトプロダクツは、すべて日立産機システムの専用工場で、分解・整備・検査を実施したものを提供いたします。

### 安定稼働を実現

リビルトプロダクツは新規製作部品と比べ、ローコストで安定稼働を実現できます。さらに、保守契約にも対応し予算化もしやすいというメリットがあります。

### 整備をコンパクト化

リビルトプロダクツを使用することにより、作業の効率化、整備時間の短縮などが図れます。



「リビルトプロダクツ」の詳細はこちら  
[https://www.hitachi-ies.co.jp/products/cmp/rebuilt\\_products/index.html](https://www.hitachi-ies.co.jp/products/cmp/rebuilt_products/index.html)



「日立産機システムの環境への取り組み」の詳細はこちら  
<https://www.hitachi-ies.co.jp/environment/index.html>



## 日立の環境への取り組み

### 環境ビジョン

日立は、ステークホルダーとの協創による社会イノベーション事業を通じて、環境課題を解決し、生活の質の向上と持続可能な社会の両立を実現する。

日立が環境経営でめざす姿



### 環境長期目標

2050年・2030年を見据えた日立の決意

## 日立環境イノベーション2050

脱炭素社会をめざすために

バリューチェーンを通じて  
2050年度  
**カーボンニュートラル**の達成  
2030年度  
CO<sub>2</sub>排出量 **50%**削減(2010年度比)  
事業所(ファクトリー・オフィス)  
2030年度  
**カーボンニュートラル**の達成

高度循環社会をめざすために

お客さまや社会とともに  
水・資源循環型社会を構築  
水・資源利用効率  
2050年度 **50%**改善  
(2010年度比)

自然共生社会をめざすために

自然資本への  
インパクトの  
**最小化**

### 環境行動計画

長期目標を実現するために、3年ごとに環境活動項目と目標を設定



詳細はWebへ

<https://www.hitachi-ies.co.jp>

日立産機 お問い合わせ



●このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。